

# 産科婦人科



副院長  
診療科長  
高倉 賢二

専門医資格等 日本産科婦人科学会専門医・代議員  
日本婦人科腫瘍学会専門医  
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医  
日本婦人科腫瘍学会 評議員  
日本産婦人科内視鏡学会 評議員  
日本内分泌学会 代議員  
日本受精着床学会 評議員  
京都大学 医学博士  
京都大学医学部 非常勤講師  
京都大学医学部 臨床教授  
三重大学医学部 非常勤講師  
三重大学医学部 リサーチ・アソシエイト  
三重大学医学部 客員教授  
関西医科大学 臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍  
産婦人科手術  
内分泌疾患の診断・治療  
不妊症の診断・治療

## □ スタッフ

平成26年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部長	北岡 有喜	日本産科婦人科学会専門医・京都大学医学博士	生殖分子生理学・医療情報学・情報システム学	
産科医長	山本 紳一	日本産科婦人科学会専門医・母体保護法指定医・京都大学 医学博士	産科一般	周産期
婦人科医長	高尾 由美	日本産科婦人科学会専門医・京都大学医学博士	産婦人科一般	婦人科腫瘍
産科医長	江川 晴人	日本産科婦人科学会専門医・京都大学 医学博士・日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定指導医・母体保護法指定医・京都大学医学部 非常勤講師	産婦人科一般	周産期・合併症妊娠の管理・更年期・腹腔鏡下手術
婦人科医長	住友 理浩	日本産科婦人科学会専門医・日本婦人科腫瘍学会専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医・日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コースインストラクター・ALSO-Japan認定インストラクター	産婦人科一般	婦人科腫瘍・周産期救急・リスクマネジメント
医師	伊藤 美幸	日本産科婦人科学会専門医 日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医	産婦人科一般	腹腔鏡下手術・更年期
医師	奥田亜紀子	日本産科婦人科学会専門医・日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医	産婦人科一般	腹腔鏡下手術・周産期
医師	秦 さおり	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	婦人科腫瘍
医師	川村 洋介	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	
医師	中木 絢子	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	
専修医	下園 寛子		産婦人科一般	
専修医	平田侑里子		産婦人科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本婦人科腫瘍学会認定研修施設 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医制度研修施設(指定) 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医研修施設
-------	--

～産科～

何よりも安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を提供します。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます大切なものとなってきていると考えています

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術(腹腔鏡手術や腔式手術、小開腹手術)を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

## □ 診療(業務)内容

～産科～

1. 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
2. 分娩(出産)は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科(NICU)・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。
3. 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。  
年間600例の分娩を取り扱っています。合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。周産期救急搬送(母体搬送)の受け入れ件数は34件で地域の周産期医療にも貢献しています。なによりも安全で安心なお産を提供します。

～婦人科～

1. 治療前のインフォームド・コンセントを重視します  
十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
2. 幅広い婦人科疾患に対応します  
充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広い婦人科疾患に対応可能です。
3. 低侵襲手術を行います  
女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性(癌)の疑いのない腫瘍に対しては、積極的に低侵襲手術(腹腔鏡下手術、腔式手術、小開腹手術)を行い、早期の社会復帰を目指します。
4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います  
京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会認定施設に指定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。
5. 更年期からの健康管理を推進します  
直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期(50歳前後)からの健康管理がますます重要となります。女性特有の健康変化に対応するため、新たに更年期・骨粗鬆症外来を開設し、更年期からの健康管理を推進します。

## □ 診療実績(平成26年度)

### 産科婦人科入院患者数

	1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2014年度	31.4	1,353	8.5

### 産科婦人科外来患者数

	1日平均患者数
2014年度	74.1

### 主な手術・検査の件数など

	分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術
2014年度	555件	142件	199件
	悪性腫瘍手術	腹腔鏡下手術	腔式手術
	89件	97件	173件

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	学会名・演題・演者
国内学会	第14回近畿産科婦人科内視鏡手術研究会・婦人科腫瘍専門医がTLHを習得する過程における問題点・関山健太郎、下園寛子、秦さおり、清水操、山西優紀夫、奥田亜紀子、伊藤美幸、江川晴人、高尾由美、北岡有喜、山本紳一、徳重誠、高倉賢二
国内学会	KANPO Science Forum ～漢方薬で腹部愁訴の治療について考える～・周産期領域における漢方・江川晴人
国内学会	第66回日本産科婦人科学会学術講演会・12症例の自験例から明らかになったカルボプラチン過敏反応のリスク因子・伊藤美幸、下園寛子、秦さおり、清水操、山西優紀夫、奥田亜紀子、関山健太郎、江川晴人、高尾由美、山本紳一、北岡有喜、高倉賢二
国内学会	第66回日本産科婦人科学会学術講演会・卵巣未熟奇形腫治療後19年目に発症したGrowing teratoma syndromeの一例・下園寛子、関山健太郎、秦さおり、清水操、山西優紀夫、奥田亜紀子、伊藤美幸、高尾由美、江川晴人、山本紳一、北岡有喜、高倉賢二
国内学会	130回 近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会・当院における卵巣癌に対するペバシズマブ(BeV)投与の実際・秦さおり、関山健太郎、下園寛子、中木絢子、清水操、山西優紀夫、奥田亜紀子、伊藤美幸、高尾由美、江川晴人、山本紳一、徳重誠、安井久晃、高倉賢二
国内学会	130回 近畿産科婦人科学会総会ならびに学術集会・当科における輸血拒否患者受け入れの考え方と現状・中木絢子、下園寛子、秦さおり、関山健太郎、江川晴人、高尾由美、山本紳一、北岡有喜、高倉賢二
国内学会	第50回日本周産期・新生児医学会学術集会・UAEを行うも止血困難であった癒着胎盤に対し開腹子宮縫合術(Square suture変法)を行い子宮温存し得た1例・清水操、江川晴人、秦さおり、奥田亜紀子
国内学会	第50回日本周産期・新生児医学会学術集会・胎児心拍数図にて異常を示したアルコール依存症合併妊婦の1例・江川晴人、清水操、秦さおり、奥田亜紀子、黒須英雄、河田興
国内学会	第6回京都周産期カンファレンス・川村洋介、江川晴人、下園寛子、中木絢子、秦さおり、奥田亜紀子、伊藤美幸、住友理浩、高尾由美、山本紳一、北岡有喜、高倉賢二
国内学会	第15回京都女性のヘルスケア研究会・当院における宗教的輸血拒否患者の現状・川村洋介、江川晴人、下園寛子、中木絢子、秦さおり、奥田亜紀子、伊藤美幸、住友理浩、高尾由美、山本紳一、北岡有喜、高倉賢二
国内学会	京都産科婦人科学会平成26年度学術集会・分娩進行中に全周性の子宮腔部脱落を認めた1例―画像と文献的考察―・中木絢子、下園寛子、平田侑里子、川村洋介、秦さおり、奥田亜紀子、伊藤美幸、住友理浩、江川晴人、高尾由美、山本紳一、北岡有喜、高倉賢二
国内学会	平成26年度治験・臨床研究研修会、パネル・ディスカッション 「誰にでも分かりやすいIRBでない」と意味がない!」高倉賢二

## □ 投稿論文など

	タイトル・著書・雑誌名・著者
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌,29(2),483-488,2014	初診時に子宮奇形を疑った子宮頸部polypoid endometriosisの一例・関山健太郎、秦さおり、清水操、山西優紀夫、奥田亜紀子、伊藤美幸、徳重誠、高倉賢二
治療薬ハンドブック2014,783-786	薬剤選択と処方のポイント 44 女性生殖器用薬・関山健太郎
日本周産期・新生児医学会雑誌,50(3),1083-1087,2014	胎児心拍数陣痛図で頻脈を示し、禁酒により改善を認めたアルコール依存症合併妊婦の1例・江川晴人、清水操、奥田亜紀子、秦さおり、黒須英雄、河田興